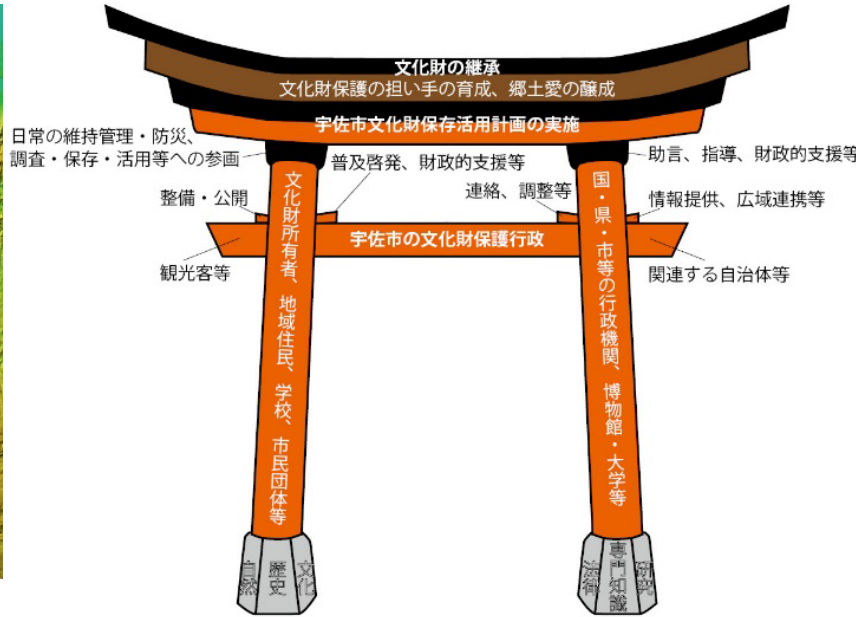


22 宇佐市文化財保存活用地域計画【大分県】

【計画期間】 令和5～14年度（10年間）
 【面積】 439.05km²
 【人口】 約5.1万人

推進体制



指定等文化財件数一覧

※：選定
 一：制度なし

指定等文化財は、383件
 未指定文化財は、1,829件把握

種類	国			県			市			合計
	指定選定	選定	登録	指定選定	選定	登録	指定選定	選定	登録	
有形文化財	建造物	3	-	23	21	-	48	-	5	100
	絵画	1	-	0	1	-	5	-	0	7
	彫刻	8	-	0	12	-	34	-	1	55
	工芸品	3	-	0	19	-	15	-	2	39
	書跡・典籍	2	-	0	1	-	2	-	0	5
	古文書	0	-	0	11	-	29	-	0	40
	考古資料	1	-	0	10	-	5	-	0	16
	歴史資料	1	-	0	4	-	12	-	0	17
小計	19	-	23	79	-	150	-	8	279	
無形文化財	0	-	0	1	-	0	-	0	1	
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	-	0	2	-	9	-	0	11
	無形の民俗文化財	1	2	0	0	3	4	2	0	12
	小計	1	2	0	2	3	13	2	0	23
記念物	遺跡	6	-	0	17	-	38	-	3	64
	名勝地	1	-	0	0	-	0	-	0	1
	動物、植物、地質鉱物	3	-	0	3	-	8	-	0	14
	小計	10	-	0	20	-	46	-	3	79
文化的景観	0	-	0	-	-	-	-	-	0	
伝統的建造物群	0	-	-	-	-	-	-	-	0	
文化財の保存技術	0	-	0	※1	-	0	-	-	1	
合計	30	2	23	103	3	209	2	11	383	

歴史文化の特徴

1 豊かな自然が生み出した宇佐の暮らしと文化

- ・南北に長く地形が変化に富む宇佐は、仙ノ岩や仙岩山の様な奇岩・奇峰、滝等の景勝地を生み出し、オオサンショウウオをはじめとする様々な動植物の生息域となっている
- ・山間部で産出する石材を使用した石橋・棚田などが多数造られた一方、駅館川下流の宇佐平野は、堰の設置や井路の開削などをとおして、広大な水田地へと変化した
- ・周防灘から安定した風が吹く広大な宇佐平野に造られた海軍航空隊は、空襲で大きな被害を受けた。残された戦争遺構は人々の暮らしを破壊する戦争を身近に感じ、考えることができる

2 境界と交流の地 宇佐

- ・山と海に挟まれた宇佐は、古来より海上・陸上を問わず交通の要衝であり、国内外の様々な地域から文化が伝わっており、宇佐の文化の複雑性を示している
- ・宇佐駅・安覆駅という西海道駅路の一部が通っており、虚空蔵寺跡や法鏡寺廃寺跡といった古代寺院が8世紀に造られるなど先進的な文化をいち早く受け入れていた
- ・豊前国と豊後国の境に位置する宇佐は諸勢力の争いの場となり、戦国時代の城館も多数築かれた

3 神と仏の宇佐八幡文化

- ・様々な文化が混じりながら成立した八幡神への信仰や神仏習合の思想を基に、宇佐神宮や弥勒寺の仏教徒が国東半島六郷満山等へ進出していく過程で生み出された、宇佐・国東を中心とした文化は【宇佐八幡文化】と呼ばれる
- ・宇佐は八幡神の成立という歴史の舞台となった土地であり、宇佐だけでなく豊前・豊後の人びとによって生み出された神と仏の両方の性格を有する思想として広まった宇佐八幡文化の影響は、宇佐市のみならず大分県や九州、ひいては日本各地に及んでいる

基本理念：

宇佐八幡文化の源流である、宇佐の大地・山・川・海に生きた人々の暮らしや交流を伝える歴史文化を継承するための基盤を整え、新たな価値の創出につなげ、将来の文化財保護を担う人材の育成と体制を構築する。

基本方針 1

文化財を継承するための基盤を整える

【課題】

- 民俗文化財、埋蔵文化財、社寺・石橋・戦争遺構・石造物・彫刻といった有形文化財等の個別の文化財についての詳細調査が必要である
- 調査・研究の効率化を図るために、先端技術の導入等も検討が必要である
など

【方針】

- 方針(1)-①
文化財の価値を伝えるための調査研究を推進し、その成果を公開する
- 方針(1)-②
文化財を継承するための制度を適切に運用する

基本方針 2

文化財の本質的価値を継承するだけでなく、新たな価値の創出を図る

【課題】

- 歴史文化に関する講座・ワークショップ・展示や発掘調査現場の公開等により、普及啓発を進める必要がある
など

【方針】

- 方針(2)-①
文化財の保存・活用を計画的に実施する
- 方針(2)-②
文化財の価値を損なわずに未来へ継承する
- 方針(2)-③
文化財の価値を伝えることで、まちづくり・教育・観光等の地域振興に寄与する

基本方針 3

文化財の継承を担う人材を育成し、持続可能な体制の構築を目指す

【課題】

- 文化財の調査や普及啓発、継承等に小中学校やまちづくり協議会等の地域住民が幅広く参画し、協働による普及啓発や文化財に興味を持ってもらう方法、体制の構築が必要である
など

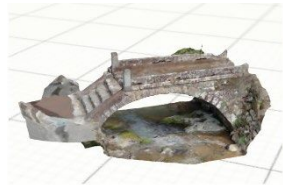
【方針】

- 方針(3)-①
歴史文化の継承に寄与する人材を育成する
- 方針(3)-②
文化財の保存・活用に関する体制を整える

5 3次元計測等の先端技術による調査の推進

五輪塔や石塔等の石造物・石橋・考古資料等の有形文化財や、古墳・横穴墓・石垣・戦争遺構等の遺跡を3次元計測し、現況を記録する

- 市・文、市・他、研究機関等
- R5～R14



有形文化財の3Dモデル



ドローンによる空撮



建造物の修理



先端技術を使用したワークショップ

52 協働による文化財の調査・研究

未指定文化財の調査に所有者、地域住民、文化財関連の民間団体、児童生徒等が参画し、協働して実施する方法を検討する

- 市・文、地域住民、市・他、所有者、研究機関等
- R5～R14



観光ガイドの会の研修会



宇佐航空隊平和ウォークの子どもガイド

※市・文：市の文化財担当部局、市・他：市の文化財部局以外の部局

関連文化財群

(1) 宇佐八幡文化のはじまりと発展

宇佐八幡文化を構成する数々の文化財が市内一円に残されており、八幡信仰の広がりや現在に伝えている

【構成要素】宇佐神宮本殿、御許山、ほか

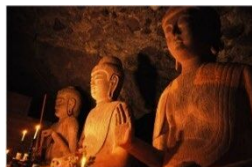


国宝 宇佐神宮本殿

(2) 宇佐の仏と寺-豊国法師から九州御坊まで-

古代から近世に至るまで、数多くの寺院、仏像、仏教美術品等があり、仏教がいかに人々の心のよりどころであったかを語っている

【構成要素】法鏡寺廃寺跡、龍岩寺奥院礼堂、ほか



重文 木造薬師如来坐像ほか(龍岩寺)

(3) 歴史資料に見る宇佐の景観

古文書や絵図等から人々の生活、歴史資料に描かれた山並み等から当時の宇佐の人々が見た景観を伺うことができる

【構成要素】宇佐神宮造営図、蓑虫山人絵日記、ほか



蓑虫山人絵日記に描かれた西椎屋大銀杏

(4) 宇佐で生まれたえれえ人

横綱双葉山、松田新之助等、宇佐からは数々の偉人が輩出されており、その功績を伝える史資料が多く残されている

【構成要素】鳥居橋、双葉山生家、ほか



横綱双葉山生家(復元)

(5) うさ(宇沙・菟狭・宇佐)の古墳と豪族居館

前期から後期まですべての時期の古墳があり、その移り変わりから古墳時代における社会構造や、地域間交流といった様々な要素を考えることができる

【構成要素】小部遺跡、川部・高森古墳群、ほか



国史跡 小部遺跡

(6) 豊の自然

豊かな動植物や山並み・滝・海といった自然景観は、宇佐に暮らした人々の生活の土台であり、生物多様性や環境の変化といった様々な情報をもたらしてくれる

【構成要素】オオサンショウウオ、耶馬溪、ほか



特天 オオサンショウウオ

(7) 宇佐ん水・米・酒

大分県最大の穀倉地帯で、豊富な米や水があることに加えて、宇佐宮へ奉納するお神酒が必要であったこと等を背景として、宇佐では酒への需要が常にあった

【構成要素】広瀬井路、宇佐神宮の御田植祭、ほか



世界かんがい施設遺産 広瀬井路

(8) 受け継がれる宇佐の祭・伝統文化

宇佐神宮では鎮疫祭・御田植祭・御神幸祭・仲秋祭等の伝統的な祭事が現在も年間を通じて行われているが、市内の各神社や寺院でもさまざまな祭事が残る

【構成要素】豊前神楽、宇佐神宮の放生会、ほか



国無民 豊前神楽(日岳神楽)

(9) 近代化と宇佐海軍航空隊

石橋や鏝絵、戦争遺構等は、日本が近代化する中での宇佐の歩みを語っている

【構成要素】鳥居橋、城井一号掩体壕、ほか



市史跡 城井一号掩体壕

文化財保存活用区域

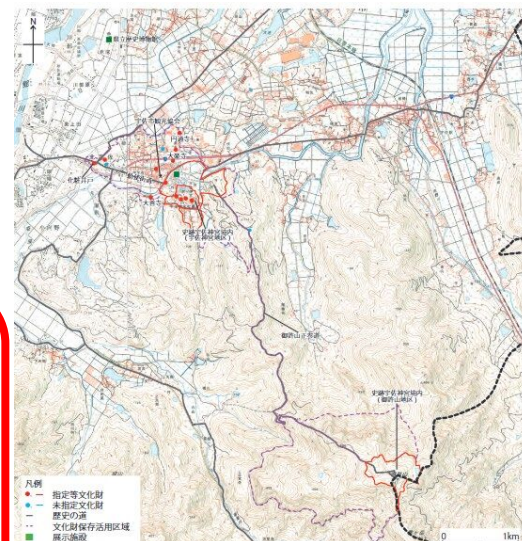
(1) 宇佐神宮・御許山保存活用区域

宇佐神宮と御許山に関連する有形・無形の様々な文化財が良好に残されている地域であり、宇佐の歴史文化の特徴の一つである宇佐八幡文化を感じることのできる区域

(2) 宇佐海軍航空隊跡保存活用区域

宇佐海軍航空隊跡地全体をフィールドミュージアムとしてとらえ、戦争遺構を整備することでより多くの人に実際に宇佐で戦争があったことを体感してもらい、平和の大切さや命の尊さについて考える機会の創出を目指すための区域

※(2)宇佐海軍航空隊跡保存活用区域の範囲は次頁



(1) 宇佐神宮・御許山保存活用区域の範囲(紫線)

文化財保存活用区域 『宇佐海軍航空隊跡保存活用区域』

- 城井 1号掩体壕、落下傘整備所、発動機試運転場等の航空隊で使用された施設、爆弾池等の空襲の傷痕、宇佐海軍航空隊忠魂碑等の記念碑といった、戦争遺構が集中して残る地域
- 航空隊跡地全体をフィールドミュージアムとしてとらえ、戦争遺構を整備することでより多くの人に実際に宇佐で戦争があったことを体感してもらい、平和の大切さや命の尊さについて考える機会の創出を目指すための区域

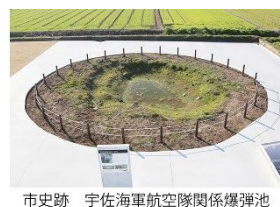
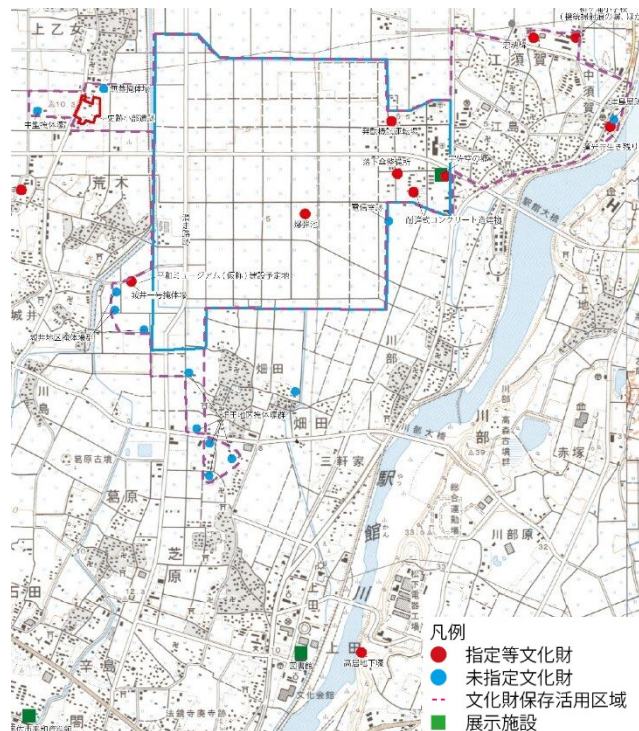
【課題】

- 宇佐海軍航空隊保存整備計画に則った遺構整備を進める必要がある
- 宇佐市平和ミュージアム(仮称)の建設が難航している
- 海軍航空隊跡等の戦争遺構が残る自治体と連携した取り組みが必要であるなど

【方針】

- 宇佐海軍航空隊跡保存整備計画の進捗を管理し、必要に応じて適宜改訂する
- 宇佐市平和ミュージアム(仮称)の建設を推進する
- 空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会等、戦争遺構の残る地域間で連携した取り組みを実施する など

【措置】 ※市・文：市の文化財担当部局、市・他：市の文化財部局以外の部局



市史跡 宇佐海軍航空隊関係爆弾池



市史跡 宇佐海軍航空隊落下傘整備所



市史跡 宇佐海軍航空隊発動機試運転場

22 宇佐海軍航空隊跡保存整備計画の実施

宇佐海軍航空隊跡保存整備計画の進捗を管理し、適宜改訂する

- 市・文、市・他、地域住民
- R5～R14



整備された史跡公園



市史跡 城井一号掩体壕

42 宇佐市平和ミュージアム(仮称)の建設

宇佐市平和ミュージアム(仮称)の建設に向けて取り組む

- 市・文、市・他、地域住民、研究機関等
- R5～R14



宇佐市平和資料館



掩体壕と平和ミュージアム建設予定地

107 戦争遺構と戦争関連資料の保存と活用

空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会等、戦争遺構の残る地域間で連携した取り組みを実施する

- 市・他、市・文、地域住民
- R5～R14



空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会



海軍航空隊跡の残る市町との連携事業